

都市再生整備計画 事後評価シート
前沢地区

平成23年12月

富山県立山町

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	富山県		市町村名	立山町		地区名	前沢地区		面積	268.2ha	
交付期間	平成19年度～23年度		事後評価実施時期	平成23年度		交付対象事業費	2,226百万円	国費率	0.4		
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名 基幹事業 町道前沢中央線、町道前沢日保線、町道上前沢坂井沢線、町道上前沢線、地域生活基盤施設(ポケットパーク)、立山町元気創造館内町民交流センター(仮称) 提案事業 まちづくり拠点施設、歩車道共存道路社会実験、町民アンケート、事業効果分析、健康のつどい、ワークショップの開催								
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし			削除/追加の理由			なし		
		提案事業	歩車道共存道路社会実験、町民アンケート、健康のつどい、ワークショップの開催			事業廃止のため削除した。			影響なし		
	新たに追加した事業	基幹事業	町道寺田停車場線、町道浦田本線、浦田1号街区公園、西口駅前広場、西口駅前駐車場、東口駅前広場、西口駅前広場エレベーター			事業の熟度が高まったため、新たな事業を追加した。			影響なし		
		提案事業	事業効果分析			都市再生整備計画による効果の詳細な分析と適切な活用を目的に、事業を追加した。			影響なし		
	交付期間の変更	当初	平成18年度～平成22年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし				
	変更	なし									
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ
	指標1	図書館の図書貸出件数	件/年	109,000	120,000	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期
				基準年度	目標年度						
	指標2	保健センターの利用者数	人/年	12,000	13,000	-	19,611	○	あり	・住民参加によるニーズに合致した施設整備や関連施策・事業との連携による事業の複合的な実施等により、図書貸出件数が増加する見通しとなった。その結果、地域の課題解決に向けた取り組みの萌芽がみられるようになった。	平成25年3月頃
				平成17年度	平成23年度				なし		
	指標3	交流施設の利用者数	人/年	53,000	58,000	-	68,370	○	あり	・住民参加によるニーズに合致した施設整備や関連施策・事業との連携に伴う事業の複合的な実施等により、交流施設の利用者数が増加する見通しとなった。その結果、地域の賑わいづくりに対する取り組みがみられるようになった。	平成25年3月頃
			平成17年度	平成23年度				なし			
指標4	町中心部へのアクセス道路の自動車交通量	台/日	4,249	4,649	-	5,020	○	あり	・住民参加による事業の円滑化、関連施策・事業との連携による事業の複合的な実施等により、町中心部へのアクセス道路の自動車交通量が増加する見通しとなった。その結果、街なかの賑わいづくりが促進された。	平成24年10月頃	
			平成17年度	平成23年度				なし			
指標5	地区内の歩道整備率	%	26.2	27.8	-	27.8	○	あり	・事業への住民参加に伴う事業の円滑化により、地区内の歩道整備率が向上する見通しとなった。その結果、町民が安心して暮らせる街づくりが促進された。	平成24年3月頃	
			平成17年度	平成23年度				なし			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ
	その他の数値指標1	地区内の自主防災組織数	組織	14		モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み	(総合所見)	予定時期
				基準年度	目標年度						
その他の数値指標2											
その他の数値指標1											
その他の数値指標2											
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・街なかで重点的に事業を実施するとともに、立山町元気創造館(仮称)等の整備に際し積極的に住民参加を図ったことにより、街なかに対する町民の愛着が増した。 ・通学路を中心に照明等を整備したことで、道路の安全性が高まった。 ・金ヶ渕駅でのパーク＆ライド駐車場の利用率が高いことから、五百石駅前に整備したパーク＆ライド駐車場についても町民の高い利用が期待できる。 ・ワークショップの開催により、住民主体でのイベント開催の気運が高まるなど、住民のまちづくり意識が高まった。 										
5)実施過程の評価	実施内容		実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				なし				
	住民参加プロセス	・町民による「(仮称)元気創造館ワークショップ」の開催 ・町民による「寺田ワークショップ」の開催	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				・「(仮称)元気創造館ワークショップ」での住民意見を、施設管理・運営に活用していく。 ・「寺田ワークショップ」を経て完成した道路の管理について、住民との協働態勢を整備していく。				
持続的なまちづくり体制の構築	・「(仮称)元気創造館ワークショップ」メンバー有志によるイベント開催の実現に向けた取組	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				・イベントの実現に向け、施設管理者とともに支援していく。					

様式2-2 地区の概要

前沢地区(富山県立山町) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
「住み慣れた地域で安心していきいきと暮らすことができる都市の実現」 目標①町民が住み慣れた地域の課題解決に貢献すること 目標②町民が安心して暮らせる街をつくること 目標③町民がいきいきと交流し地域が振興すること	図書館の図書貸出件数	単位:件/年	109,000 H17	120,000 H23	321,576 H23
	保健センターの利用者数	単位:人/年	12,000 H17	13,000 H23	19,611 H23
	交流施設の利用者数	単位:人/年	53,000 H17	58,000 H23	68,370 H23
	町中心部へのアクセス道路の自動車交通量	単位:台/日	4,249 H17	4,649 H23	5,020 H23
	地区内の歩道整備率	単位:%	26.2 H17	27.8 H23	27.8 H23



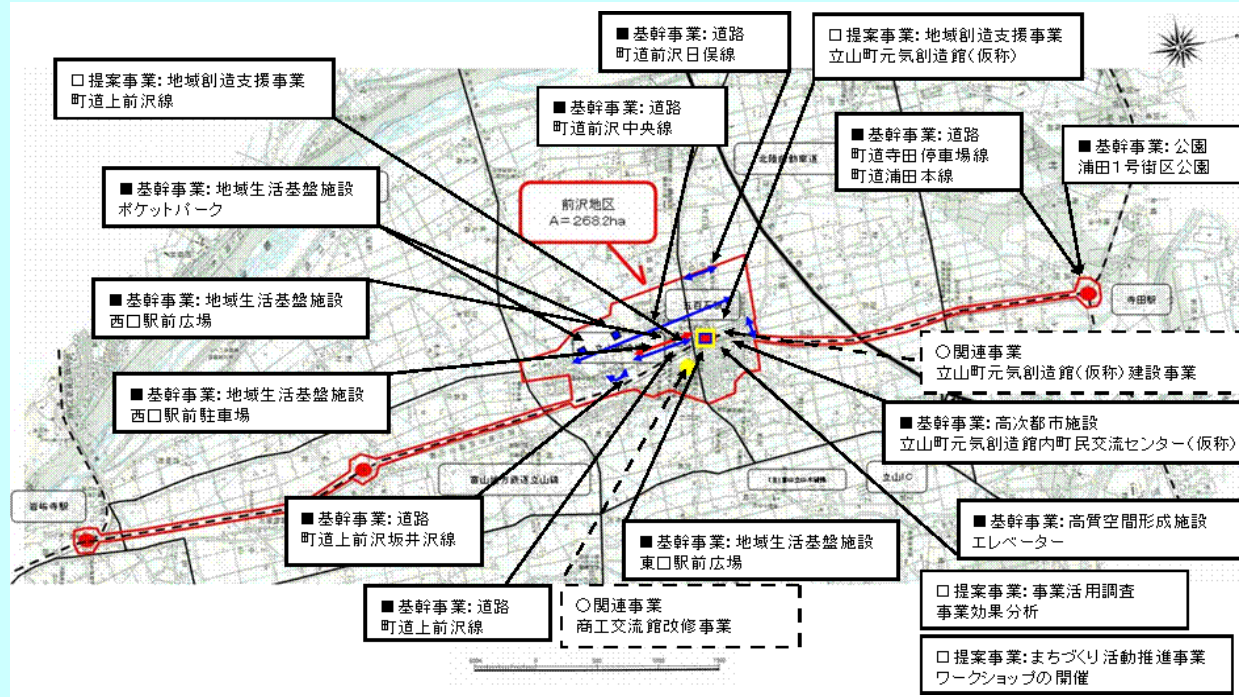
ポケットパーク



町道前沢中央線



町道上前沢坂井沢線



町道浦田本線



浦田1号街区公園



立山町元気創造館(仮称)

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 立山町元気創造館(仮称)内図書館の整備等により、町民交流が促進され、町民による地域課題解決に向けた取り組みが進みはじめた。 地区内の道路や駅前広場、立山町元気創造館(仮称)内保健センターの整備等により、町民が主体的に健康づくりに取り組める環境が整った。 公園や立山町元気創造館(仮称)内町民交流センターの整備等により、街なかの賑わいが再興されはじめた。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 整備した立山町元気創造館(仮称)の利用を促進する(施設のPR)。 整備した施設・インフラの持続的な維持・サービスの向上を図る(施設・アセットマネジメントシステムの構築、管理運営への住民参加の促進)。 まちづくり活動母体を育成する(まちづくり活動母体による活動への支援)。 町民による社会活動の活性化を支援する(情報収集・発信機会の創出、人材育成・コーディネート体制の構築、町民による社会活動のマネジメント支援体制の構築)。 移動環境の向上を図る(自動車によるアクセス性の改善、通学路等の安全性の改善、町営バス等の利便性(ダイヤ、経路等)の改善、紅葉交通に対する町民意識の啓発)。 子育て環境の向上を図る(子育て施設の改善・拡充)。 定住環境の向上を図る(町営住宅等の耐久性・居住性の改善)。 賑わいを創出し続ける仕組みを確立する(活動主体の交流促進、町民が企画に参加できる体制の構築、企画コーディネーターの育成)。 周辺地域の魅力を発掘するとともに、その魅力を向上する(町民が主体となった地域資源の再評価と情報発信、地域資源のブラッシュアップ)。 町民交流センターと周辺地域の連携強化を図る(連携イベントの開催、まち巡りマップの作成)。